

◆稻荷地区 第2回地区会議の報告 ~計画づくりの経過~

12月5日(金)18時00分～20時00分、稻荷地区公民館にて「稻荷地区 第2回地区会議(地区別計画策定)」が開催されました。会議には、策定委員7名と役場職員11名(※事務局・オブザーバーを除く)が参加しました。

■ 会議前半:前回の振り返りと10年後の地域像の共有

まず、11月4日に行われた第1回会議の内容が共有されました。

続いて、全体ファシリテーターから、今回の会議では「10年後の地域の目指す姿」について対話を深めていくとの説明があり、「東神楽町の将来人口推計」をもとに、今後の人口減少や高齢化率の上昇について確認を行いました。

■ 10年後の暮らしを想像するワーク

2035年10月1日の自分たちの暮らしを想像し、次のような視点で「こうなっていたらいい地域の姿」について発表し合いました。

- どこで、誰と、どのように過ごしているか
 - どんな移動手段を使っているか
 - どのように働き、どのように遊んでいるか
- など、思い描く未来像を一人ずつ共有しました。
-

■ 3つのテーマに分かれての対話

前回会議で整理された「地区に影響を与えるような課題や社会の変化」に基づき、以下の3つのテーマごとにグループに分かれて意見交換を行いました。

(赤●:とても重要、青●:重要 各人赤3票、青3票を投票)

【テーマ①:地域のコミュニティーはどうなっているといいでしょうか】

(公民館活動、高齢者世帯や一人暮らしの見守り、移住定住など)

① お互いを尊重(●:8票、●:2票)

- ・公民館活動、町内会活動を通して、コミュニティーを形成する。
- ・何でも気軽に買える時代になり、外出頻度も少なくなり、近隣とも顔を合わせることが少

ないことが原因でもあるのではないかと。そのためお互いを尊重し、世代間での声掛けをしていくことが必要。

② 知識の共有(●:0票、●:5票)

- ・人生の先輩方に知識を植え付けてもらいたい。
→明るく楽しく接して知識を共有したい。
- ・お互いに知識をすり合わせて、町内会地域を盛り立てていくことが大事
- ・知識を共有することで、参加意欲の向上や、他人を気にかけるきっかけになる。

③ 世代間での声掛け(●:12票、●:1票)

- ・他人を気にかけることで、仲が深まり、コミュニティーが構築される。
- ・世代間でのコミュニケーションが地区の活気とつながる。
- ・近隣同士で声掛けをしていき、町内会活動等と一緒に参加しコミュニティーを形成していくことが必要。
- ・地域でのつながりが希薄化しているため、町内での活動で顔合わせできるようにしていくのが良い。

【テーマ②: 地域の産業が維持・発展できているとしたら、どうなっていると良いでしょうか】
(担い手の確保・育成、鳥獣対策、農地の維持など)

① 農地の基盤整備(●:4票、●:2票)

- ・人口や担い手が減る中で、農地を維持するためには基盤整備(大区画化)が必須。
効率を上げることで、少ない人数で農地面積を増やしていく。

② スマート農業(●:2票、●:5票)

- ・現状でもドローンを活用しているが 10 年後はさらに自動化などが進んでいると思う。

③ 新規就農(●:10票、●:2票)

- ・失敗事例の検証が必要
- ・農業高校・大学との連携をしてみては(実習の受け入れ、マッチング)
- ・農業大学出身等の若い女性がビジョンを持って就農してくれたら

④ 新規事業の参入(●:1票、●:3票)

- ・新規事業の参入をきっかけとした移住者の増加

⑤ 空き家の有効活用(●:1票、●:8票)

- ・稻荷地区は建て替えしやすい地区
- ・地区の魅力の PR が必要
→ロケーションが良かったり魅力があるが、地区をあまり知られていない現状がある
PR ができたら良いのでは

【テーマ③ 安全・安心な生活を続けるためには、どうなっているといいでしょうか】
(生活環境や移動手段、道路などのインフラや防災、交通安全、高齢者含め誰もが安心して暮らせる環境)

① 移動手段(●:11票、○:3票)

・安価で病院やスーパーまで送迎してくれるタクシーやバスがあるとよい。(東神楽でもオンドマンド車両を試験的に導入しているが)

② 道路環境の維持、改善(●:3票、○:8票)

・ゴルフ場付近の道路は凹凸箇所が多く走行が危険。また、草やコケが生い茂り滑りやすくなっている。定期的な道路のメンテナンスが必要。

③ クマの出没(●:0票、○:4票)

・東神楽町でも足跡が確認(年に3~4回)され、散歩を控えている。被害が出る前にクマ対策を十分に講じる必要がある。

・近年は昔に比べタヌキの出没も多い。温暖化により作物の環境が変化しているものと推測。

④ 防災(●:1票、○:3票)

・昨今の気候変動でゲリラ豪雨が多くなり、川の氾濫の危険性が増したように思う。高い堤防を構築する等何らかの方法を考える必要がある。

■ 今後の予定

次回の会議は 1月 28 日(水)10 時 00 分から、同会場にて開催予定です。
これまでの対話内容を踏まえ、具体的な目標の設定に向けた議論を行う予定です。

